

講 義 要 項

授業科目	病態生理学Ⅲ			担当者	畑中 勇二 松永 俊二
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前／後
	1 単位	30 時間	講義		2年次・前期
授 業 目 標					
脳神経系、骨格系、筋系の疾病の病態及び検査・治療について理解できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 脳神経系の疾病の病態生理と検査・治療	脳神経系の主な疾病の病態生理・検査・治療について理解できる。	1. 中枢神経系の疾病 1) 脳血管障害、脳腫瘍、頭部外傷 2) 脱髄疾病 多発性硬化症、変性疾患 パーキンソン病、筋委縮性側索硬化症 3) 感染症 脳炎、髄膜炎 4) 認知症 アルツハイマー病、血管性認知症、レビー小体型認知症 2. 末梢神経系の疾病 ギランバレー症候群、顔面神経麻痺	15		講義
2. 骨格系・筋系の疾病の病態生理と検査・治療	骨格系・筋系の主な疾病の病態生理・検査・治療について理解できる。	1. 骨折 大腿骨頸部骨折、その他の骨折 2. 骨腫瘍 3. 変形性関節症 変形性股関節症、変形性膝関節症 4. 慢性関節リウマチ 5. 脊髄損傷	14		講義
修得試験			1	1	
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学(7), 脳神経, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学(10), 運動器, 医学書院.				
評価	1. 単位修得試験				
備考	脳神経：実務経験：脳神経外科看護師として、豊富な実務経験をもとに授業を行う。 骨格系・筋系：実務経験：医師として、豊富な実務経験をもとに授業を行う。				